



教育目標「志をもち鍛える たくましい生徒」



森町立泉陽中学校だより

令和元年 6月19日発行

キャッチフレーズ「靴を揃え 背筋を伸ばし 返事はハイ」

令和元年6月3日 朝礼講話

校長 寺田敦朗

6月に入りました。そろそろ梅雨入り宣言が出される頃です。そうすると蒸し暑くなりますが、そんな蒸し暑さに負けずに頑張らしましょうね。

さて、先週の火曜日5/28に、川崎市でとても残念な出来事がありました。皆さんはもうわかりますよね？学校への通学

バスを待っていた児童の列に突然男が刃物で襲いかかり、17人の子供や大人が怪我をし、2人の尊い命が犠牲となりました。まずは亡くなられた方に対して黙祷を捧げましょう。

黙祷…直れ。

今回の事件を起こした犯人は51歳という普通ならば分別のあるはずの大人ですが、彼はなぜこのような凶行に及んだのでしょうか。マスコミなどでその理由について様々なことが言われていますが、私は、「自己肯定感」と「自己有用感」の欠如が背景にあるのだらうと思っています。

「自己肯定感」というのは「自分はかけがえのない、大切な存在である」という確信のことです。その土台となるのは、「根拠のない自信」、これは何もできなくても、ありのままの私がそのままで愛され、大切にされ認められているという自信です。お父さんやお母さん、親が我が子愛する無償の愛、それは存在することそのものへの肯定なのです。

這えば立て、立てば歩めの親心…という言葉がありますが、親というものはみんなそんな我が子の成長をただただ褒め、たたえ、家族みんなで喜ぶものです。そうして子どもは「根拠のない自信」を身につけていくのです。

この「根拠のない自信」は、表面には見えませんが人間の人格形成や、その後の人間関係への土台となる部分で、とても重要なものです。この自信があると、自分が安定し、自分を信頼でき、人をも信頼することができるのです。この「根拠のない自信」は、成長する中で「根拠のある自信」へと変わっていきます。自分はこんなことができる、あんなこともできる…ということです。しかしまあ、人間の人生はそう簡単に事は運びません。時には挫折したり、自信をなくしたりといったことが必ず起こります。それでも、「根拠のない自信」を持っている人は、また立ち上がって「根拠のある自信」を身につけていくことができます。

「根拠のある自信」を身につけ、その力を発揮できるようになるとそれを人が認めてくれるようになります。自分の力を人の役に立てることができるようになれば、人から感謝されるようになります。私がいつも言っている「ありがとうと言われる人」です。

人から認められ、感謝されることで、自分は人のために役立っている「価値ある人間」なんだという自信になっていきます。それを「自己有用感」と呼びます。この「自己有用感」こそが、人間を幸せにしてくれるのです。

おそらく今回の事件の犯人、岩崎隆一という人には「根拠のない自信」が不幸にして身につかず、「自己肯定感」も「自己有用感」も身につけなかったのではないかと、そんなある意味不幸な人生を歩まざるを得なかったのではないかと、そんな気がしてなりません。

川崎で起こった今回のような事件が、2度と起こらない世の中にしたい。心からそう願ってやみません。日本に暮らすすべての人が、「自己有用感」をもって幸せに暮らすことができれば、こんな不幸なことは起こらない世の中になるでしょう。そのためにもまずは皆さん自身が、「ありがとうと言われる人」になってください。そして将来、皆さんが親となったときには、皆さんの子どもに対して、何よりも無償の愛を注いで、「根拠のない自信」をつけてください。

以上でお話を終わります。

【裏面へ続く】



第1回泉陽中学校・森中学校統合準備会

令和元年5月27日（月）、泉陽中学校のランチルームにおいて第1回泉陽中学校・森中学校統合準備会が開催され、泉陽中、森中の教職員、泉陽中、森中、三倉小、天方小、森小のPTA役員、三倉、天方、森地区町内会連絡会の代表者、主任児童委員等総勢35人の委員が出席し、統合に向けての具体的な検討がスタートしました。

準備会では円滑な学校統合を行うため、学校再編について地域から出された意見や要望を具体化するよう1年間をかけて検討していきます。

教育長のあいさつに続き、これまでの経緯の確認と今後のスケジュール、検討すべき課題の分野（教育、通学、PTA、事務、式典）について想定される検討課題等の説明が行われ、その後、通学に使用されているバスの現状について役場企画財政課より説明が行われました。続いて各分野の検討の進め方等について意見交換が行われました。

次回の準備会からは各分野に分かれ、課題の検討が始まります。準備会の課題に対する検討状況については、順次「学校だより」で報告するよう予定しています。

【各分野の想定される検討課題】

- 「**教育分野**」・・・教育目標・教育課程・行事計画・防災計画・地域との関わり
- 「**通学分野**」・・・通学方法・バス通学・通学路
- 「**PTA分野**」・・・PTA規約・PTA組織・役員選出方法・PTA行事・PTA会計
- 「**事務分野**」・・・備品の整理・備品の活用・備品の移動・予算関係
- 「**式典分野**」・・・式典計画・式典準備・式典運営・閉校誌発行計画

【バスの現状について】

通学時のバス利用については、企画財政課からバスの現状報告が行われ、スクールバス導入のハードルの高さや既存バスの利便性を高めていく取組が現実的であるという方向性についての説明がありました。

